

(1) ※青森県第1区の区域は、青森市（旧青森市の区域。旧浪岡町の区域は青森県第4区です。）、五所川原市、東津軽郡、北津軽郡です。

維新のますたと青森を変えませんか。



日本維新の会公認 ますた世喜男

維新と青森をつなぐ唯一の候補 升田世喜男です。

このままの日本ではいけないと大阪の橋下徹、東京の石原慎太郎が日本維新の会をつくりました。地域で地域が良くなると思つたことをその地域でやりたい、ただそれだけです。今こそ青森力を結集して、青森を変え、日本を変えて行きましょう。

日本維新の会が目指すのは、体制変更

つまり、社会の仕組みを変える事です。この国のかたち(体制)と気持ち(理念)を改革することなのです。いわば、リンゴの植わった果樹園の土壌を変え、地形を改めようという運動です。実ったリンゴを誰が穫るのかの政局でもなく、穫ったリンゴをどこに配るのかの政策でもありません。地道な土壌改良や土地改造で、長期的に実るリンゴを増やそうとする運動です。

TPP交渉は、自由貿易圏構築のための会議の場です。

農業・医療・金融などの守るべきものを守る為にも、まずは交渉に参加して発言すべきです。協議の結果、国益に反する場合は反対します。

農業を過重な債務から解放。

かつて、銀行の不良債権を国が整理したように、農家の不良債権を一定のルールのもとに整理します。

消費税を地方税として、自由度の高い地方財源にします。

露ヶ関の主導で決まるヒモ付き予算よりも、創意と努力で地域経済を活性化させます。

青森県は未来県！

食料産業で雇用対策

生産/加工/販売をオール青森で行うことで雇用を飛躍的に拡大します。

エネルギー産業で雇用対策

エネルギー供給基地である青森県だからこそ、再生可能エネルギーの一大産業化を目指します。

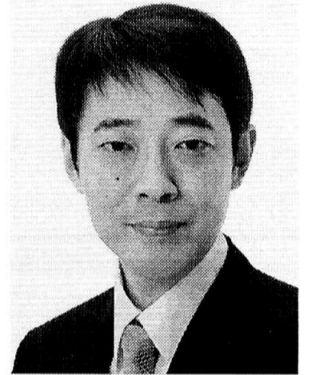


プロフィール

- 平成11年 青森県議会議員初当選 商工観光労働常任副委員長
- 平成15年 青森県議会議員2期目当選 農林水産常任委員長
- 平成17年 衆議院選挙 初挑戦
- 平成21年 衆議院選挙 二度目の出馬
- 平成22年 参議院選挙 出馬
- 青森県実業団 剣道連盟副会長 (平成19年)
- 木造高校剣道部 後援会長 (平成20年)

升田世喜男
選挙事務所
青森市浜田玉川187-4
TEL.017-735-2134~6
www.masuta-seki.com

比例代表では「いっしょ」とお書きください。



日本未来の党公認 よこやま ほくと 横山北斗

TPP参加・消費税増税に NOと言ええる青森

TPP参加

TPP参加で、青森県の米産出額は9割減(県試算)。各市町村の損失は、農業分野だけで10億25億円になります。

TPPには、郵政民営化の推進と強化が盛り込まれています。県経済をガタガタにした、あの郵政民営化が再び来襲するのです。

消費税増税

消費税増税は総額13兆円、国民一人当たり年10万円を超える負担増です。5人家族なら年50万円の負担増。平均所得の低い青森県では、消費は激減、倒産は激増します。

税のあり方を決める権利は、国民にあります。私たちが黙っていたら、税率は10%にとどまりません。あつという間に10%→15%→20%へと上がっていきます。消費税増税は決まったことだからしかたない、とんでもありません。それを決めるのが、今度の総選挙です。

新エネルギー雇用拡大 環境分野で

消費税増税の前に、まずは雇用拡大！

TPPと消費税増税に賛成する党は、地方への投資を抑制する財政を続け、税収は減る一方で、このため、地方にさらなる犠牲を強い消費増税で税収を上げ、TPP参加で首都圏の大企業をうるおすことで、経済成長を達成しようと考えています。地方を中心に、新エネルギー、環境等の事業を展開し、景気を回復させる方針を掲げているのは、日本未来の党です。景気の回復なくして、地方に雇用は生まれません。

民主、自民、維

新、どこも消費税

は10%以上。

TPP交渉参加

に前向きな発言。

政策は一緒です。

真実

TPPに参加すれば、金融も保険も医療も、大規模なアメリカ企業と同じ条件で競争しなければなりません。本県の公共事業も労働力の安い外国の建設業者が自由に受注できるようになります。TPPについての情報が不十分なのは、こうした真実を知られたくないためです。

横山北斗 プロフィール

- 1963年10月25日生まれ(49歳)
- 中央大学法学部政治学科卒業
- 東海大学大学院政治学専攻修了(政治学博士)
- 弘前大学教育学部助教授
- 弘前学院大学大学院教授
- 青森県農業大学校講師
- 党副幹事長
- 青森県総支部連合会代表

未来の党

http://webhokuto.com

横山北斗選挙事務所 〒030-0862 青森市古川3-22-3 TEL:017-721-2507 FAX:017-721-2537

TPP反対・消費税増税の中止法案を提出・即時原発ゼロへ

提案し、実現へ行動します

外交

TPP参加に反対つらぬく 対等・平等の日米関係へ

TPP反対の県民ぐるみの運動の先頭にたちます。安保条約をなくして、対等・平等の友好条約を。憲法9条を生かした平和外交をすすめます。

原発

原発依存から即時原発ゼロへ 再稼働の条件も必要性もありません。

大岡原発建設中止、核燃事業の中止を。発電潜在力も雇用効果もはるかに高い再生可能エネルギーへの転換をすすめます。

経済

消費税増税に頼らず 社会保障充実と財政再建へ

国民の所得を増やす政策に転換し「デフレ不況」脱却を。大企業と富裕層に応分の負担を。年金削減に反対。無法人ストラは中止させます。

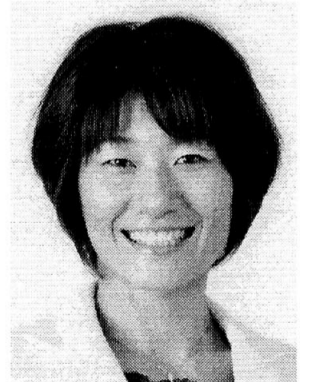
領土

尖閣・竹島・千島は日本の領土。 歴史的事実と道理にたつて 外交交渉で解決を

実現に全力 つくします

- 国保税・介護保険料の軽減。子ども医療費の無料化。安心の医療・介護を。
- 雇用を増やす。地元業者に仕事を。安心して農林漁業で働ける政治に。

日本共産党の改革のビジョン詳細はホームページ [日本共産党](#) 検索



日本共産党 さいとうりゅう 美緒・みお 32歳

私は力をあわせて「青年に仕事を」「原発ゼロへ」の運動をすすめてきました。「アメリカいなり・財界中心」の政治を断ち切って、「国民が主人公」の新しい日本をつくるために、行動します。若者・子どもからお年寄りまで元気に輝く社会をめざします。

略歴 1980年旧尾上町生まれ。釧路公立大学卒。旧尾上町農業委員、民青同盟青森県委員長。現在、党県国会事務所員。
事務所 青森市中央3-21-15
TEL.017-777-7241

政党が離合集散のなか ぶれずに、 国民の立場つらぬく

政党が離合集散するなか、日本共産党は党をつくって90年。ぶれずに国民の立場でスジを通す党です。

草の根で国民と 結びつく党

政党助成金や企業献金を受けとらず廃止を主張。「住民の苦難の解決」に全力をあげています。

憲法をまもりぬく

憲法改定をかかげるなど古い政治への逆流がおきています。日本共産党は戦前の暗黒政治と侵略戦争に命をかけて反対した歴史をもつ党です。憲法をまもりぬきます。

高橋ちづ子前衆議院議員(比例東北ブロック)を国会へ 比例代表は 日本共産党 とお書き ください

※青森県第1区の区域は、青森市（旧青森市の区域。旧浪岡町の区域は青森県第4区です。）、五所川原市、東津軽郡、北津軽郡です。

(2)

青森、東北、日本のために!

政治も経済も地方も大きな変革のなか、新しい発想、新たな力が求められています。
青森は本質の地。県民目線に立ち、青森の飛躍に向けて全力を尽くします。

挑む 安心な社会づくり

- 消費税の社会保障財源化により弱者目線に立った制度をつくります。
- 災害に強い、安全で安心できる国土を築きます。
- 子育て・女性支援を強化。保育所・幼稚園費・給食費の無料化に取り組みます。

創る 豊かな社会に向けて

- 不況脱却、雇用を拡大。TPPの聖域なき関税・非関税障壁撤廃に反対します。
- ものづくり産業、ベンチャー企業への支援を強化します。
- 本社機能移転、研究施設移転等への支援策を強化します。
- 競争に強い農林水産業を構築。大規模化・法人化・高付加価値型を促し、競争力を高めます。

新たな力 明日のために

- 次代を担う子ども・若者の個性・能力が開花する教育を可能とする制度を導入。
- 効率的で開かれた地方自治、住民目線の「地方分権」を推進。賑わいづくり、まちづくりを支援します。

一票、一歩から始まる明日へのステップ。

走れJUN From Aomori, for Nippon! 挑む、創る、新たな力!

3つの約束

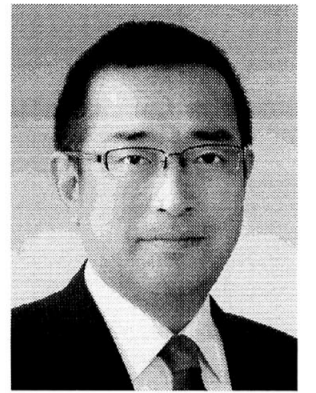
Justice 公正 常に真実を語ります

Unity 絆 常に皆様の身近な存在です

Nippon 日本再生

東北復興・日本再生に向け全力投球

つしま 淳 選挙事務所 TEL 017-721-5150
〒030-0822 青森市中央2丁目2-12 FAX 017-721-5165 <http://juntu.web.fc2.com/>



自民党公認
つしま 淳
四十六歳

こどもたちの未来のために

私、“はたの里奈”の決意!



教育改革・子育て支援・男女共同参画の推進

再生可能エネルギーの実用化に向けて資金を投入し、2030年代に原発ゼロを目指す!

誰でも安心して老後を過ごせるように年金財源の確保、介護・福祉の充実化

日本の平和を守る

外交問題はあくまでも冷静に国際法に基づいて解決する

皆さんこんにちは、はたの里奈です。2010年に参議院議員選挙で次点となった次の日から毎日県内各地を歩き、政治活動を続けてきました。

民主党を政権交代前から支え応援して下さった有権者の皆様の気持ちを考えれば、ここで逃げ出すわけにはいきません。民主党をゼロから立て直すため、ブレずにただひたすら愚直に邁進します。

私は世襲ではありません、しがらみもありません。本当の意味で国民のために、県民のためになる事を実行するのみです。

まず私は、子供をもつ一人の母親として、子供を安心して産み、育て、また、働き続けることができる社会をつくる為に、子育て支援により一層力を注ぎ、男女共同参画を推進します。ひとり親世帯の方の支援や、不妊治療への助成の拡充、教育改革にも挑みます。

次に、誰でも安心して老後を過ごせるように年金財源を確保し、介護や福祉の充実化を図ります。そして、再生可能エネルギーの実用化において資金を投入し、2030年代に原発ゼロを目指します。

また、日本の平和を守るため、外交問題はあくまでも国際法に基づいて、平和的に冷静に解決します。今の子供たちが大人になった時にも安心して暮らせる青森県・日本をつくるために頑張ります!

- 略歴**
- 1973年2月15日、39歳。 ●1989年8月、旧西ドイツへ交換留学(1年間)。その後明治大学文学部に入学。
 - 1997年、青森朝日放送に入社、アナウンサーとして活躍。
 - 2001年3月に同社を退社、その後はフリーアナウンサーとして、また、2級ファイナンシャル・プランナーとして活動。
 - 2006年5月、株式会社ファイナンシャルアナウンサーを設立、代表取締役社長に就任。
 - 2010年7月、第22回参議院議員選挙青森選挙区民主党公認候補者、222,875票を得るも次点。
 - その後、青森県内全域で政治活動を継続中。

- 現在**
- 青森商工会議所(青年部所属)
 - あおり男女参画をすすめる会賛助会員
 - 青森青年会議所所属
 - 青森県中小企業家同友会
 - 盛和塾あおり塾生

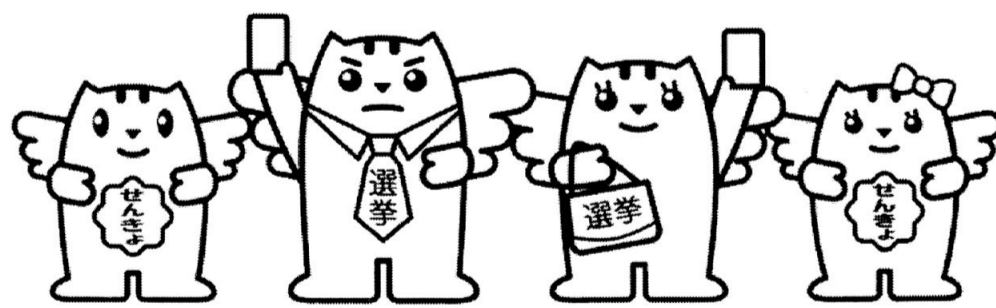


民主党公認 青森県
第一総支部長
はたの里奈
39歳

○ 投票時間

午前7時から午後8時まで

ただし、市町村の一部の投票所では、投票時間を変更していますのでご注意ください。



○ 投票の方法

<小選挙区選挙>

候補者に投票します。
投票用紙(白色)には、候補者の氏名を記入してください。

衆議院議員総選挙 投票日 12月16日

○ 期日前投票

投票日に用事があるなどの理由で投票できない人は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をして、棄権しないようにしましょう。

詳しい手続きについては、県または市町村の選挙管理委員会にお尋ねください。



<比例代表選挙>

政党等に投票します。
投票用紙(うすい水色)には、政党等の名称又は略称を記入してください。

※平成17年4月1日に旧青森市と旧浪岡町が合併してできた青森市については、旧青森市の区域が「第1区」、旧浪岡町の区域が「第4区」となっております。

この選挙公報は、くじを引いて掲載順序を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。